

令和元年11月1日

保護者様

流山市立小山小学校

校長 山口 謙

全国学力・学習状況調査の結果について、以下の通りご報告いたします。

### 【本校児童の学力と学習状況】

4月に第6学年の児童を対象に実施された、全国学力・学習状況調査（国語・算数・生活等に関する質問）の結果についてお知らせいたします。本校では調査の結果を受け、教育指導の充実と学習状況の改善に努めて参ります。なお、結果は児童一人一人に返却し、適宜復習を行い、引き続き継続的な指導を実施します。

#### ○学力面

	本校平均正答率 (%)	千葉県	全国
国語	69	63	63.8
算数	68	66	66.6

#### ○生活状況面

	本校	千葉県	全国
朝食を毎日食べている	96.4	94.8	95.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	80.7	80.5	81.4
家で、自分で計画を立てて勉強している	70.5	68.6	71.5
自分には、よいところがあると思う	89.8	80.0	81.2
今住んでる地域の行事に参加していますか	55.5	61.8	68

※「している」、「どちらかといえばしている」を合わせた割合（肯定的な回答）

《全国の結果を基準に見た本校の学力・学習状況調査結果の傾向》

### 1 【学力について】

#### (1) 全国との比較（全国の正答率と比べた場合）

##### 国語

###### ＜学習指導要領の領域等＞

- ・話すこと・聞くこと+2.5ポイント 書くこと+0.7ポイント 読むこと+5.4ポイント 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項+9.1ポイント

###### ＜問題形式＞

- ・選択式+2.7ポイント 短答式9.9ポイント 記述式+4.2ポイント

##### 算数

###### ＜学習指導要領等＞

- ・数と計算+1.1ポイント 量と測定+4.0ポイント 図形+0.9ポイント 数量関係+2.1ポイント

### ＜問題形式＞

選択式+1.5ポイント 短答式+1.1ポイント 記述式+3.2ポイント

### (2) 各教科の内容概況

#### ＜国語＞

- ・14問中13問、正答率が県・全国平均を上回っており、国語の知識に関する内容は概ね良好と分析できる。
- ・「漢字の読み書き」に関する問題では、平均して約+12ポイント全国平均を上回っていた。9割近くの回答率で、書いてはいるが同音異義語の間違いが多かった。意味を理解して書くことが大切である。
- ・書くことに関する問題は、図表やグラフを捉えることはできているが、文章の記述の仕方の工夫を捉える問題の正答率が低かった。自分の考えを書く問題は、回答率自体が低かったため、日頃から情報をしっかり捉え、自分の考えを持つことが大切である。

#### ＜算数＞

- ・14問中全国平均を上回った問題が11問、下回った問題が3問、下回った問題では、数学的な考えを問う問題が2問、数量や図形に関する問題が1問であった。
- ・「量と測定」に関する分野の問題では、全国平均を+4ポイントも上回っており、理解の定着が見られた。
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算の問題が正答率約半数であった。基礎的計算と計算のきまりを身につけることがたいせつである。

※国語、算数共に多くの問題で無答率が見られた。問題に難しさを感じている児童がいるかもしれないので、配慮が必要である。

### (3) 対策

- ・6年生では、正答率の低い問題を中心に復習し、また、基礎基本の定着を高められるよう、前学年の内容も反復練習を行っていききたい。
- ・算数では、朝のモジュールの時間や習熟度別学習の時間を使って、基礎的な問題に取り組み、基礎基本をしっかり定着させる。
- ・今回の調査結果を踏まえ、現学年の児童は、その学年の間違えやすい、理解が難しい単元・内容を特に重点を置き習熟を図っていく。

### 2 【生活状況について】

毎朝ほとんどの児童が朝食を食べて登校している。起床時間については、同じ時間に寝起きしていない睡眠時間の不安定さが垣間見られた。

他の設問から自己有用感が高く、規範意識も高いことがうかがえた。また、計画的に学習しており、学習時間も1時間以上2時間未満が最も多かった。家族等に支えられながらしっかり学習している様子が見られた。

課題としては、地域や社会とのつながりが弱い。行事への参加率も約半数で目があまり向いていない。自分の住んでいる地域を大切にできるようにしていきたい。